

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成27年7月13日

【四半期会計期間】 第44期第3四半期(自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

【会社名】 株式会社カワサキ

【英訳名】 Kawasaki & Co.,Ltd

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 川崎 治

【本店の所在の場所】 大阪府泉北郡忠岡町新浜2丁目9番10号

【電話番号】 072-439-8011(代表)

【事務連絡者氏名】 管理部部長 堀田 義行

【最寄りの連絡場所】 大阪府泉北郡忠岡町新浜2丁目9番10号

【電話番号】 072-439-8011(代表)

【事務連絡者氏名】 管理部部長 堀田 義行

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第3四半期 連結累計期間	第44期 第3四半期 連結累計期間	第43期
会計期間	自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日	自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日	自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日
売上高 (千円)	1,731,624	1,660,060	2,240,578
経常利益 (千円)	293,769	229,928	291,425
四半期(当期)純利益 (千円)	168,918	125,313	96,927
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	169,058	125,301	97,032
純資産額 (千円)	3,860,405	3,781,582	3,788,379
総資産額 (千円)	6,548,250	6,023,119	6,436,234
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	139.10	108.76	79.81
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	59.0	62.8	58.9

回次	第43期 第3四半期 連結会計期間	第44期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日	自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	34.20	48.39

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の円安及び株価の回復等により景気回復への期待感が高まりつつあります。しかしながら、欧州の財政問題、原子力発電所停止による全国的な電力供給問題に加え、中国経済の減速や消費税増税政策等もあり、依然として景気の先行きは、不透明感を拭えない状況となっております。

このような状況下、当社グループの服飾事業におきましては、収益体質の強化に向け、販売品目の整理等に取り組みましたが、為替の影響により売上原価は増加することとなりました。賃貸・倉庫事業におきましては空き倉庫の賃貸先募集を積極的に進めました。これらの結果により、当第3四半期連結累計期間の連結業績は売上高1,660,060千円(前年同四半期連結累計期間比4.1%の減少)、営業利益199,660千円(前年同四半期連結累計期間比20.4%の増加)、経常利益229,928千円(前年同四半期連結累計期間比21.7%の減少)、四半期純利益125,313千円(前年同四半期連結累計期間比25.8%の減少)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

服飾事業

当事業部門におきましては、収益体質の強化を図りましたが、為替の影響により売上原価の増加となりました。売上高は1,160,617千円(前年同四半期連結累計期間比9.4%の減少)、営業損失は47,717千円(前年同四半期連結累計期間は営業損失9,404千円)となりました。

賃貸・倉庫事業

当事業部門におきましては、空き倉庫の賃貸先募集を積極的に進めました。売上高は499,442千円(前年同四半期連結累計期間比10.8%の増加)、営業利益は248,149千円(前年同四半期連結累計期間比42.7%の増加)となりました。

(2) 財政状態の分析

流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて28,607千円(2.0%)減少し、1,409,209千円となりました。この主な要因は、商品及び製品が107,373千円増加したものの、現金及び預金が56,336千円、未収入金が106,101千円減少したことによるものであります。

固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて384,506千円(7.7%)減少し、4,613,910千円となりました。この主な要因は、土地が243,566千円、建物及び構築物が128,743千円減少したことによるものであります。

流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて255,644千円(13.4%)減少し、1,654,290千円となりました。この主な要因は、未払法人税等が56,014千円増加したものの、短期借入金が300,000千円減少したことによるものであります。

固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて150,672千円(20.4%)減少し、587,246千円となりました。この主な要因は、長期借入金の減少159,630千円等によるものであります。

純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて6,797千円(0.2%)減少し、3,781,582千円となりました。この主な要因は、四半期純利益を125,313千円計上したものの、剰余金の配当48,869千円、自己株式の取得83,230千円があったこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	5,700,000
計	5,700,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年7月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,450,500	1,450,500	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は、 100株であります。
計	1,450,500	1,450,500		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年3月1日 ～平成27年5月31日		1,450,500		564,300		465,937

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成27年2月28日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 306,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,144,200	11,442	
単元未満株式	普通株式 300		
発行済株式総数	1,450,500		
総株主の議決権		11,442	

(注) 「完全議決権株式(自己株式等)」欄の普通株式は、全て当社保有の自己株式であります。

【自己株式等】

平成27年2月28日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社カワサキ	大阪府泉北郡忠岡町新浜 2丁目9番10号	306,000		306,000	21.10
計		306,000		306,000	21.10

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成27年3月1日から平成27年5月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年9月1日から平成27年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年 8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年 5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	322,607	266,270
受取手形及び売掛金	169,383	195,348
商品及び製品	649,527	756,901
原材料及び貯蔵品	81,705	74,902
通貨スワップ契約等	-	16,898
その他	215,981	101,033
貸倒引当金	1,388	2,144
流動資産合計	1,437,817	1,409,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,540,247	1,411,503
土地	3,266,162	3,022,595
その他（純額）	19,190	17,038
有形固定資産合計	4,825,599	4,451,137
無形固定資産	6,238	8,616
投資その他の資産		
その他	177,115	160,455
貸倒引当金	10,537	6,299
投資その他の資産合計	166,577	154,155
固定資産合計	4,998,416	4,613,910
資産合計	6,436,234	6,023,119

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,381	53,202
短期借入金	1,450,000	1,150,000
未払費用	115,122	106,763
未払法人税等	1,900	57,915
賞与引当金	4,581	8,689
通貨スワップ契約等	1,244	-
その他	285,703	277,720
流動負債合計	1,909,934	1,654,290
固定負債		
長期借入金	348,020	188,390
役員退職慰労引当金	186,849	191,349
資産除去債務	29,829	30,246
その他	173,220	177,260
固定負債合計	737,919	587,246
負債合計	2,647,854	2,241,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,300	564,300
資本剰余金	468,338	468,338
利益剰余金	3,058,867	3,135,311
自己株式	303,301	386,531
株主資本合計	3,788,204	3,781,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	175	164
その他の包括利益累計額合計	175	164
純資産合計	3,788,379	3,781,582
負債純資産合計	6,436,234	6,023,119

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
売上高	1,731,624	1,660,060
売上原価	885,008	812,124
売上総利益	846,616	847,936
販売費及び一般管理費	680,768	648,275
営業利益	165,847	199,660
営業外収益		
受取利息	8	7
為替差益	131,562	32,584
その他	3,289	2,377
営業外収益合計	134,860	34,969
営業外費用		
支払利息	5,940	4,653
その他	997	48
営業外費用合計	6,938	4,701
経常利益	293,769	229,928
特別損失		
固定資産売却損	-	9,765
特別損失合計	-	9,765
税金等調整前四半期純利益	293,769	220,162
法人税、住民税及び事業税	119,067	93,613
法人税等調整額	5,783	1,236
法人税等合計	124,850	94,849
少数株主損益調整前四半期純利益	168,918	125,313
四半期純利益	168,918	125,313

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	168,918	125,313
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	139	11
その他の包括利益合計	139	11
四半期包括利益	169,058	125,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	169,058	125,301
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日)
減価償却費	103,071千円	94,717千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月28日 定時株主総会	普通株式	27,324	22.50	平成25年8月31日	平成25年11月29日	利益剰余金
平成26年4月14日 取締役会	普通株式	13,662	11.25	平成26年2月28日	平成26年5月13日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年11月27日 定時株主総会	普通株式	28,842	23.75	平成26年8月31日	平成26年11月28日	利益剰余金
平成27年4月13日 取締役会	普通株式	20,027	17.50	平成27年2月28日	平成27年5月12日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,280,967	450,656	1,731,624		1,731,624
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	7,653	7,656	7,656	
計	1,280,970	458,310	1,739,280	7,656	1,731,624
セグメント利益又は損失()	9,404	173,911	164,507	1,339	165,847

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額には、セグメント間取引消去904千円及び貸倒引当金の調整435千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,160,617	499,442	1,660,060		1,660,060
セグメント間の内部売上高 又は振替高		7,737	7,737	7,737	
計	1,160,617	507,180	1,667,798	7,737	1,660,060
セグメント利益又は損失()	47,717	248,149	200,431	771	199,660

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額には、セグメント間取引消去841千円及び貸倒引当金の調整1,612千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	139円10銭	108円76銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	168,918	125,313
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	168,918	125,313
普通株式の期中平均株式数(株)	1,214,404	1,152,182

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、平成27年6月29日開催の取締役会において、当社の100%子会社である株式会社リードを吸収合併(以下「本合併」)することを決議し、株式会社リードとの間で本合併に係る合併契約を締結いたしました。

なお、本合併は当社100%出資の連結子会社を対象とする簡易合併・略式合併となります。

1. 合併の目的

株式会社リードは、袋物及びバッグを女性向に企画し、国内及び中国、フィリピン、インドネシア等で外注生産し、小売店、専門店、百貨店、大手アパレル等を通じて販売しております。このたび、意思決定の迅速化と組織運営の効率化を図り、経営基盤を強化することを目的として、当該子会社を吸収合併することといたしました。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

取締役会決議日	平成27年6月29日
合併契約締結日	平成27年6月29日
合併の予定日(効力発生日)	平成27年8月10日

(注) 本合併は、当社においては会社法第796条第2項に定める簡易合併であり、当該子会社においては、会社法第784条第1項に定める略式合併であるため、それぞれ合併契約に係る株主総会の承認を得ることなく実施いたします。

(2) 合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社リードは解散いたします。

(3) 合併に係る割当ての内容

株式会社リードは、当社100%出資の子会社であるため、本合併に際して新株の発行、資本金の増加、及び合併交付金の支払いはありません。

(4) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 本合併の当事会社の概要

	存続会社	消滅会社
(1)名称	株式会社カワサキ	株式会社リード
(2)所在地	大阪府泉北郡忠岡町新浜2丁目9番10号	大阪府泉北郡忠岡町新浜2丁目6番45号
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 川崎 治	代表取締役社長 川崎 治
(4)事業内容	身の回り品等の卸売業 賃貸・倉庫事業	袋物・バッグ等の卸売業
(5)資本金	564,300千円	30,000千円
(6)設立年月日	昭和46年10月16日	昭和46年9月22日
(7)発行済株式数	1,450,500株	60,000株
(8)決算期	8月31日	8月31日
(9)大株主及び持株比率	株式会社KWS 37.92% 株式会社カワサキ 21.10% 川崎 貴美子 6.27% 川崎 久典 4.72% 株式会社池田泉州銀行 1.72%	当社 100.00%
(10)直前事業年度の財政状態及び経営成績		
決算期	平成26年8月期	平成26年8月期
純資産	3,788,379千円(連結)	228,272千円(単体)
総資産	6,436,234千円(連結)	531,309千円(単体)
1株当たり純資産	3,119.54円(連結)	3,804.54円(単体)
売上高	2,240,578千円(連結)	474,341千円(単体)
営業利益	157,963千円(連結)	26,757千円(単体)
経常利益	291,425千円(連結)	30,178千円(単体)
当期純利益	96,927千円(連結)	35,872千円(単体)
1株当たり当期純利益	79.81円(連結)	597.88円(単体)

4. 合併後の状況

当社の名称、所在地、代表者、事業内容、資本金及び決算期に変更はありません。

5. 今後の見通し

本合併は、100%出資の連結子会社との吸収合併であるため、当期連結業績に与える影響は軽微であります。

6. 実施する会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成20年12月26日)に定める共通支配下の取引等に該当し、これに基づく会計処理を実施する予定です。

2 【その他】

第44期(平成26年9月1日から平成27年8月31日まで)中間配当については、平成27年4月13日開催の取締役会において、平成27年2月28日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 20,027千円

1株当たりの金額 17円50銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成27年5月12日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 7月13日

株式会社カワサキ
取締役会 御中

仰 星 監 査 法 人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 新 田 泰 生 印

業務執行社員 公認会計士 池 上 由 香 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カワサキの平成26年9月1日から平成27年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成27年3月1日から平成27年5月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年9月1日から平成27年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カワサキ及び連結子会社の平成27年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。